

卒業おめでとう、ようこそ同窓会へ

# 震天動地

「震天動地」は、1918年当時の山口沢之助校長の揮毫により、誕生した応援団旗の言葉で、「海邦養秀」と共に先輩から後輩に受け継がれている首里高校の精神文化の一つです。  
(一社)養秀同窓会・沖縄県立一中・首里高等学校

No.21  
2022.3.1



SHINTENDOCHI

卒業生号

未来を担う君たちへ  
海邦養秀の精神を繋ぐ!

先 輩 から 後 輩 へ

浦添市副市長

大城 千栄美 (首里高 34 期卒)





浦添市役所に勤務する首里高出身の皆さん

## 浦添市副市長 大城 千栄美 (首里高 34 期卒)

先輩から後輩へ

### 多くの経験を重ねて 更なる成長を

首里高等学校第77期生の皆さん、  
ご卒業おめでとうございます。  
首里高校での3年間は どうでしたか？

多感な3年間の多くの期間をコロナ  
に振り回され、思い描いた学校生活で  
はなかったと予想されますが、パワー  
あふれる首里高校生のことです、その

苦しい中でも自分たちなりに努力を  
し、楽しみながら、たくさん仲間や  
先生方とともに素晴らしい思い出を積  
み重ねてきたのではないのでしょうか。  
そんな皆さんに先輩として少し述べさ  
せていただきます。

卒業はゴールではなく次のステージ  
へのスタートだとよく言われます。皆  
さんは次のステージをどのようにした  
いと思っていますか？すでに次のス  
テージでの目標を定めそれに向かって  
進学する人、就職する人、まだ次のス  
テージを決めかね模索中の人など様々  
な人がいると思います。

しかし、今どんな状況にいる人でも、

今年4月1日から成年年齢が18歳へと  
引き下げられることに伴い、これから  
の人生においては否が応でも大人とし  
ての責任が伴うこととなります。いま  
で未成年だからと守られてきた部分に  
も、成年として自ら判断し行動するこ  
とを求められるのです。

そこで私が皆さんに伝えたいこと  
は、自分の行動に責任を持つという自  
覚を持って成長していくということだ  
す。私は成長のエネルギーとなるのは  
一日一日を大切に生きていく中で積  
む「経験」だと考えています。成功し  
ても失敗してもその「経験」は人を大  
きく成長させると私自身今までの人生  
で学びました。上手くいくこともあれ  
ば、どんなに努力を重ねてもうまくい  
かない、思いが通じない、なかなか芽  
が出ない、悲喜こもごもたくさんを経  
験をしました。しかし、そのすべての  
経験は私が大きく成長するエネルギー  
になったことは確かです。ですから、  
皆さんにも責任を持った行動のとれる





## 『読書の奨め』



(一社) 養秀同窓会  
会長 田場 稔  
(首里高 16 期)

二百六十五年及び江戸時代が終わり、明治時代になり、ヨーロッパの進んだ思想・文化や近代的人間観の伝達・普及を目的とした文学を啓蒙文学というのですが、その第一に挙げられるのが福沢諭吉の『学問ノススメ』です。

「天は人の上に人を造らずと言えり」著名なこの一文で始まる本書は、生来平等な人間に差異をもたらさず学問の意義を平易な文章で説いている。諭吉がいう学問とは、貴族社会での趣味や芸事を嗜む習いごとではなく、読み、書き、算盤等の実学のことである。諭吉はこの実学がある箇所「サイエンス」とふりがなをつけている。一身独立して一国独立する事や、独立の気力なき者は、人に依頼して悪事をなすなど、本来平等たるべき人に貴賤の別の生じるのは学ぶか学ばざるかに由ると説いている。その次に挙げられる本が、『スマイルズの自助論』（竹内均訳）（三笠書房）です。この本は中村敬宇（けいいう）（正直）の『西国立志編』（文語体の訳本）を現代の青少年向けに訳し直した本で

す。中村敬宇（正直）は幕府の儒者だった。幕末に英国に留学し、幕府が互解した明治元年帰国する船中で、スマイルズの『自助論』を読み感動し、『西国立志編』として翻訳刊行（明治三年）し、自助をすすめる以外日本の将来はないと説いた。現代語訳をした竹内の解説によれば自助とは現代流でいうと①自己実現をし②十分に食うことができ③その結果が他人に高く評価されることと書いている。

私は一九六一〜六五年まで、雪深い北陸の金沢大学（旧制第四高等学校）で勉強した。当時六〇年安保の余波の中、学生運動が盛んで大学生生活は落ち着きがなく不安でしたが、右に挙げた本や、啓蒙文学より少し時代が下がるが、豊富な教養と視野の広さに裏付けされた質の高い創作活動をした夏目漱石や森鷗外等の著作物を読み精神を落ち着かせたおかげで大学を卒業できたと思っっている。皆さんも今後、不安を感じたり行きづまったりした時は、先達の著した書物等を読むことをお奨めします。

【略歴】首里高校16期卒 首里高校教諭の時、同窓会係として創立百周年事業に関わる。平成11年 第21代首里校長として母校に戻る。養秀同窓会副会長として百三十周年事業に関わり、平成30年 養秀同窓会第9代会長に就任。平成31年 百四十周年記念事業実行委員会会長を務める。

大人に成長できるように、たくさんの方の「経験」して欲しいと思っます。責任をもって行動すること、そしてそこからもたらされる結果と向き合うことは簡単そうに感じてとても勇気がいることです。でも、一つひとつの「経験」はきつと皆さんを大きく成長させてくれます。

この厳しいコロナ禍の中、皆さんにはつらいことや厳しいことを乗り越える強さ、人を思いやる優しさが培われたはず。その培ってきた力を発揮し、勇気を持って、いろいろな「経験」を重ね、ステップアップしていただきたいと思っます。

そして最後に、首里高校での三年間の思い出や出会った人々、培ってきた力は、皆さんの人生の中で必ずや大きな財産になります。大事にしてください。その全てに感謝の気持ちを忘れずに、自分の夢や目標に向かって自信を持って前に進んでほしいと強く願っます。

以上、皆さんのご活躍を心から楽しみにしつつお祝いの言葉とさせていただきます。



## PROFILE

- |    |              |                   |
|----|--------------|-------------------|
| 学歴 | ・昭和 54 年 3 月 | 沖縄県立首里高等学校卒業      |
|    | ・昭和 59 年 3 月 | 国立琉球大学短期大学部法経学科卒業 |
| 経歴 | ・昭和 56 年 6 月 | 浦添市職員として採用        |
|    | ・平成 22 年 4 月 | 市民部市民課課長          |
|    | ・平成 25 年 4 月 | 市民部長              |
|    | ・平成 26 年 5 月 | 総務部長              |
|    | ・平成 30 年 4 月 | 市民部経済観光局長         |
|    | ・令和 元 年 5 月  | 浦添市副市長            |







染織デザイン科 77 期卒業制作壁画「守魂」

※表紙は壁画をアレンジしたものです。

この壁画は私たち 77 期生の輝かしい未来への一步を祈念したものです。人物は永く継承されてきた沖縄文化の象徴として描きました。これから歩む道が険しく、諦めたいと涙を流す時もあるかもしれませんが、彼らは私たちの背中を押し、応援してくれる存在でもあります。背景に描いた長い反物は麻の葉模様が右側から左側にかけて徐々に大きくなり、最後は模様がバラバラになってゆくデザインです。これは私たちがこれから築いていく道を表しています。首里高校で過ごした日々は大切な宝物です。そしてこれからの多くの出会いに期待し、一人ひとりに輝かしい未来があるようにと願いを込めました。今年もコロナウイルスの流行で不安もありましたが、自分の好きな道へ一直線に突き進み、新しい世界へ羽ばたいていくと想いを込めました。

## ◆◆◆ 一般社団法人養秀同窓会の活動 ◆◆◆

- 代議員総会・交流会 年に一度、5月に「ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 (旧: グランドキャッスル)」で行います。
- 一中健児之塔 慰霊祭 毎年 6 月 23 日 (慰霊の日) に一中健児之塔慰霊祭を挙げています。戦争で、犠牲になった 307 名の健児と職員の御霊を慰霊し恒久平和を願います。
- 養秀育英奨学金の運営と人材育成 創立 130 周年を記念して創設された「養秀育英奨学金制度」に、さらに「入学支度金制度」「海外留学補助金制度」「在校生支援奨学金制度」を加え充実した内容で人材育成に努めています。
- 養秀文庫 同窓会館の一階に養秀文庫を設けています。沖縄学の父、伊波普猷氏をはじめ、東恩納寛惇氏や同窓会員の著書、国学、一中、首里高校に関する資料なども所蔵しています。
- 在校生への支援 在校生への学習・スポーツ活動に毎年予算を組んで支援しています。
- 会館の利用 サークル活動、同期会の打ち合わせ、クラス会の集まりに利用できます。
- 養秀セミナー 同窓会員を講師に迎えてセミナーを開催しています。(年 3 回開催)
- サークル活動 体育系・文科系・社会活動など、各種サークルが活動しています。

## ◆◆◆ 養秀同窓会の一年(概要) ◆◆◆

- 4月・首里高入学式参列・「震天動地」発行 (新入生)
- 5月・「海邦養秀」発行 (全会員)・代議員総会・交流会
- 6月・一中健児之塔慰霊祭
- 10月・養秀ゴルフ大会・秋の養秀囲碁大会
- 3月・首里高卒業式参列・「震天動地」発行 (卒業生)

県外へ進学・移住される方は各支部にぜひご連絡ください！

センターが  
歓迎します！

- ・東京支部長：吉田 英雄 (14 期) ☎03-3388-3096
- ・関西支部長：鎮西 忠信 (15 期) ☎078-708-7236
- ・福岡支部長：安室 米蔵 (16 期) ☎090-8352-2508
- ・熊本支部 事務局長：儀間 敏彦 (35 期) ☎096-386-2711
- ・鹿児島支部長：宇根 文穂 (23 期) ☎099-228-9901

● ホームページ <http://www.youshu.com> ● ブログ <http://blog.youshu.com/office/>

■ facebook ページ <http://www.facebook.com/shurikoh>

養秀同窓会

検索

震天動地 第 21 号 2022 年 3 月 1 日

発行人：一般社団法人養秀同窓会  
会長：田場 稔  
発行責任者：広報部 会

〒903-0815  
沖縄県那覇市首里金城町1-7 養秀同窓会事務局  
TEL&FAX: 098-885-6437  
MAIL: youshu@woody.ocn.ne.jp

編集後記

長嶺 将邦 (首里高 23 期卒)

「卒業おめでとうございます。仲間達との交流の時間がたくさん持てたはずの高校時代なのに、コロナ禍でままならないこともあったでしょう。でも、それに負けずに濃厚な時間がつくれたのではないですか？」

「昨年は新しい校舎も完成し、充実した時間が持てたでしょう。卒業後はそれぞれの道をまっしぐらに進んでください。」

ときには脱線もあるかと思いますが、その時に大事なものは、仲間であり、先輩であります。遠慮せずにぶつかりましょう。同窓会もその一部です。初心貫徹です。」